

郵便区分機「TT-210」 (株)東芝小向事業所



■ 製品・技術等の概要

集積された郵便物を1通ずつ搬送し、配達先ごとに区分を行う装置であり、従来機よりも軽量化・省電力化を実現

■ 先進性・独自性等

消費電力を抑えてランニングコストを抑えると同時に、宛先読み取り率の向上などにより操作性や保守性を向上させ、人にも環境にも配慮した製品

■ 域外貢献量の算定時に比較した製品・技術等

前機種郵便区分機「TT-200」

■ 算定条件（機能単位）

郵便自動化システムを15年間、年間300日、1日に15時間稼働

■ 域外貢献量

1. $65 \times 10^4 \text{ t-CO}_2$ (CO₂換算) (製品使用年数15年間)

■ 機能単位あたりのライフサイクルCO₂削減量

2. $30 \times 10^2 \text{ t-CO}_2$ (CO₂換算)